



ふるさと

ウォッチング

7/21

相撲を通じて 体力づくり



掛合小学校内の掛合相撲道場で、町内小学校の5・6年生を対象にした相撲講習会が開催されました。児童たちの指導には、島根県相撲連盟の高橋司さんがあたり、白や赤色のまわしを締めたる児童たちは、準備運動を終えた後、相撲の基本姿勢である蹲踞（つまず立ちで膝を開き、腰を下ろす）やしこ踏みの練習、ぶつかり稽古などを行いました。掛合町では、毎年この講習会を開いており、9月9日に開催される掛合わんぱく相撲大会や各地域での奉納相撲に向け練習を重ねます。

7/19

みんな集まれ！ 赤ちゃんくじびん



今年度から吉田町では、親子同士がふれあう交流の場を提供するため「赤ちゃんくじびん」をはじめました。対象年齢は0歳から1歳までのお子さんとその保護者で、奇数月に行なっています。7月は「おいしく離乳食クッキング」ということで離乳食づくりをし、10組の親子が参加。お母さんたちは、栄養士に指導を受けながら、離乳食づくりに奮闘していました。離乳食を作った後、お母さんたちは、お子さんに離乳食を食べさせながら、楽しそうにおしゃべりなどし、にぎやかなひとときを過ごしました。参加者は「親同士で育児の悩み等を相談できて良かった」、「同世代のお母さんとお話できてとても楽しかった」と話していました。

8/16

幻想的な水面に手を合わせ 灯ろう流し



三刀屋川河川敷で、送り盆の行事「みや灯ろう流し」がありました。この灯ろう流しは、昭和62年から「みや灯ろう流しの会」（陶山佳正会長）が行っているものです。辺りが暗くなり始めた午後7時ごろ、読経がこだます中、先祖供養、家内安全などと書かれた灯ろう約300個が、ひとつまたひとつと河岸から流されました。灯ろうの灯火が三刀屋川の水面を幻想的に照らすと、河岸では多くの人が流れゆく灯ろうにそっと手を合わせ、先祖の霊を送っていました。

8/1

厳粛な中で 貴船神社鎮火祭



加茂町南加茂の貴船神社で、夏の神事「鎮火祭」が厳粛な雰囲気の中で、執り行われました。この神事は、南加茂の夏祭りとして、氏子や地元住民らによるみこし行列とともに行われますが、今年は1日が平日だったこともあり、鎮火祭は1日に、みこし行列は7日に行われました。境内は灯ろうの明かりでほかに照らされ、宮司らによる湯立ての神事や神道護摩行事、南加茂貴船神社神楽社中による夜神楽奉納などの後、参拝者は、清められた炭火の上を素足で歩く「火渡り」で、火に対する感謝と火災除けを願いました。

8/14

清流の里で やまめ祭り



大東町のかみくの桃源郷で、夏の思い出づくりにと「やまめ祭り」がにぎやかに行われました。この祭りは、地元の有志で構成する実行委員会が主催したもので、この日は、お盆で帰省している人や県内外からの親子連れなど大勢が訪れました。会場を訪れた子どもたちは、放流された千匹のヤマメのつかみ取りに挑戦し、上から下までビショビショになりました。参加者は、つかまえたヤマメを塩焼きにし味わったほか、地元の山の幸をふんだんに使った焼肉やソーメン流しでおなかを満たしました。かみくの桃源郷は、自然観察遊歩道、キャンプ場、コテージ、食堂などが整備されており、家族や友達とともに川遊びや森林浴、もみじ狩りなど四季折々の大自然を満喫することができます。

7/31

納涼「ロッ」列車に乗って



木次町の小川上自治会（石原太千男会長）のみなさんが、木次線を走るトロッコ列車で地域の親睦を深めました。「最近では、自治会近くの木次線を走る列車に乗る機会も少ない。昭和30年から自治会内の親睦行事を行ってきたが、今年はずいぶん乗ってみたい」ということから企画された今回の親睦行事。この日は、朝から大雨でしたが、出発前の午前10時には天候が回復し、自治会内の45名が列車に乗り込みました。普段、列車に乗る機会の少ない子どもたちは、運転席隣りに陣取り、列車の運転手気分を楽しんだり、心地よい風を受けながらおやつを食べたりしながら、列車の旅を楽しみました。来年で90年を迎える木次線。みなさんもぜひ乗ってみて、その歴史を感じてみてください。



また貴船神社には、樹齢80年以上といわれ、県の天然記念物に指定されているシイの木もあります。

【問】かみくの桃源郷管理事務所
☎0854・47・0217